三線の花

二揚

工 ○ 老 下老 四 ○ 中 五 工 ○ 四 老

下老 ○ ○ 中尺 四 ○ 合 六 五 ○ 四 六

工 ○ 合 六 五 六 五 ○ 工 ○ 老 下老

四 ○ 中 五 工 ○ 四 老 下老 ○ ○ 中尺

四 ○ 合 六 五 ○ 四 六 工 ○ ○ ○

工 ○ ○ 四 上 ○ ○ ○ 中 ○ ○ ○ いつしかわすれられ

工 ○ 老 下老 四 ○ 中 工 上 ○ ○ ○ おじいの た

中 ○ ○ ○ 工 ○ 六 八 五 中 工 四 さんしん かたみの

上 ○ ○ 工 中 ○ ○ ○ ○ 四 ○ ○ 六 いわいの たんじょう とこのまで

工 ○ ○ ○ 上 ○ ○ ○ ○ 上 ○ ○ ○ ○ て れたも にけざま しま

中 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 工 上 ○ ○ ○ ○ ほこりを

中 ○ ○ ○ 工 ○ ○ 老 下老 四 ○ 中 工 ○ ○ 工 なでて びゆ

三線の花

二揚

ゆるんだいとを　まけば
たいくつで　たま
ら　なかった　しまうたが
ひびいた　あざ
や　かにょみがえる
あなた　と過ごした日
々は　やわらかな
いとしさで　この
む　ねを　つきやぶ
り　咲いた　のは　さんしんの　は
な

上	○	○	工	中	○	○	工	○	六	八	五	中	工	四	上	○	○	○	○	工	中	○	○
四	○	○	六	八	五	中	四	中	工	合	工	中	上	○	合	工	五	六	六	○	上	○	工
工	○	四	○	工	中	上	○	上	工	○	五	上	○	工	○	○	○	○	○	工	中	○	工
上	○	○	工	五	上	○	上	○	○	工	中	○	合	中	工	五	六	七	六	五	六	○	五
ひ	び	い	た																				
や	か	に	よ	み	が	え	る																
あ	な	た	と	過	ご	し	た	日															
々	は	や	わ	ら	か	な																	
い	と	し	さ	で	こ	の																	
む	ね	を	つ	き	や	ぶ																	
り	咲	い	た	の	は	さ	ん	し	ん	の	は												
な																							

三線の花

二揚

一、いつしか忘れられた　オジーの形見
の三線
床の間で誕生祝いの　島酒にもたれ
て

ほこりを指でなでて　ゆるんだ糸を
巻けば
退屈でたまらなかった　島唄が響い
た

鮮やかによみがえる　あなたと過ご
した日々は
やわらかな愛しさで　この胸を突き
破り
咲いたのは　三線の花

二、テレビの斜め向かいの　あなたが居
た場所に
座ればアルミの窓から　夕月が昇る

家族を眺めながら　飲む酒はどんな
味
眠りにつく前の　唄は誰の唄

喜びも悲しみも　いつの日か唄える
なら
この島の土の中　秋に泣き冬に耐え
春に咲く　三線の花

三、この空もあの海も　何も語りはしな
い
この島に暖かな　風となり雨を呼び
咲いたのは　三線の花

秋に泣き冬に耐え　春に咲く　三線
の花